

平成21年度「リフレッシュ理科教室」（北陸・信越／東海支部浦里会場）

ドリームスペース コンテスト 2009

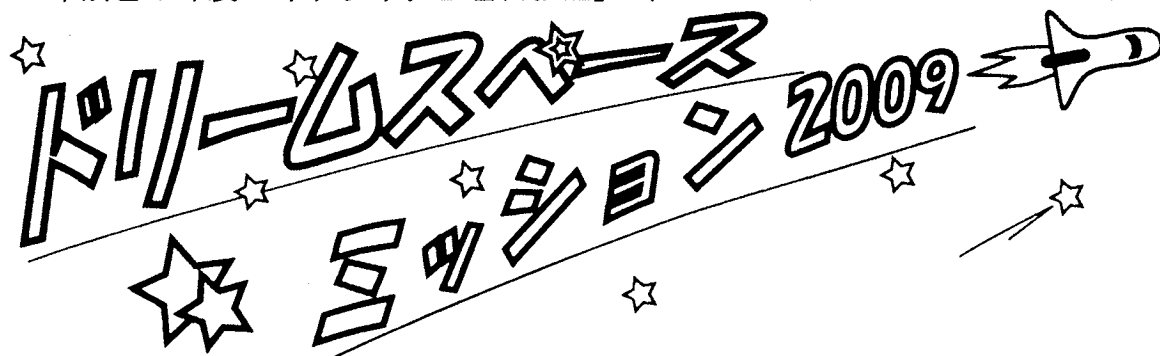
平成21年7月2日（木）
長野県上田市立浦里小学校



主催：社団法人応用物理学会北陸・信越支部／東海支部、
社団法人電気学会東海支部

平成21年度「リフレッシュ理科教室」(北陸・信越/東海支部浦里会場)

ドリムスベース 夏祭 2009



平成21年7月2日(木)
長野県上田市立浦里小学校

●7月2日(木)

9:00~10:30

先生、小学生対象のサイエンスショー

10:30~12:00

先生・小学生対象の理科実験工作教室

主 催

社団法人応用物理学会北陸・信越支部/東海支部、社団法人電気学会東海支部

後 援

上田市教育委員会、

IEEE名古屋支部、応用物理学会応用物理教育分科会、

電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、日本化学会東海支部、

日本赤外線学会、日本物理学会名古屋支部、プラズマ・核融合学会

協 賛

山洋電気(株)、シナノケンシ(株)、日置電機(株)

(50音順)

この事業の一部は、独立行政法人科学技術振興機構の

平成21年度地域科学舎推進事業地域活動支援により実施

問い合わせ先

長野県上田市立浦里小学校 〒389-0803 長野県上田市浦野 237

電話 0268-31-2001 FAX 0268-31-1374

社団法人応用物理学会北陸・信越支部(宮入圭一)

〒380-8553 長野県長野市若里 4-17-1 信州大学工学部電気電子工学科

電話 026-269-5226 FAX 026-269-5226、E-mail:kminaba@shinshu-u.ac.jp

社団法人 応用物理学会東海支部(高井吉明)

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科 エネルギー理工学専攻

電話:052-789-3159、FAX:052-789-3441、E-mail:takai@nuee.nagoya-u.ac.jp

社団法人電気学会東海支部(大野哲靖)

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科 エネルギー理工学専攻

電話&FAX:052-789-3145 FAX:052-789-3944、E-mail:ohno@ees.nagoya-u.ac.jp

(表紙イラスト:岡島千穂)

社団法人応用物理学会 平成 21 年度「リフレッシュ理科教室」

(北陸・信越支部／東海支部 浦里会場)

開催にあたって

社団法人 応用物理学会

東海支部 支部長 早川 泰弘 (静岡大学 電子工学研究所)

北陸・信越支部 支部長 山本 鬮勇 (福井大学 大学院工学研究科 電気・電子工学専攻)

電気学会東海支部 支部長 田中 孝明 (中部電力株式会社 技術開発本部 電力技術研究所)

われわれの生活には、携帯電話、液晶テレビ、パソコンなど、最先端の科学技術によって作られた製品があふれています。日本は、最先端の科学技術を使った「モノづくり」によって価値の高い製品を創り出し、これらの製品を世界中の多くの人々に供給することによって、豊かな生活を手に入れてきました。これからの日本も、このような科学技術に支えられたモノづくりによって発展していくことと思います。科学技術やモノづくりは、「なぜだろう？なぜかしら？」と思う好奇心から始まります。理科は、自然現象や物理現象を解き明かし、さらに工夫を凝らして現象をコントロールするために必要な技術を作り出すための学問です。自然現象を身近に感じて楽しみ、それを生活に役立てるためのものが理科なのです。しかし、いま、自然に触れ合う機会が少なくなるとともに、全ての製品がますますブラックボックス化して、自然現象や物理現象を楽しむ機会が減ってきています。このような状況にあってこそ、なおさら、理科に基づいた豊かな創造力を育成することが、今後の高度な技術を創り出す源であり、それを育むためには、感性に優れた好奇心の旺盛な小学生時代の体験がとても重要です。

このような状況を踏まえて、応用物理学会では、「リフレッシュ理科教室」を開催しています。理科離れが叫ばれる中、まずは子供たちに工作を通して身近な理科を楽しんでもらいたいと思い、また子供たちの教育に携わっておられる先生のお役に立てればと考えて、この理科教室を始めました。

今回は、応用物理学会北陸・信越支部と東海支部が連携するとともに、新たな試みとして電気学会東海支部も加わり、信州大学や地域の企業の関係者の協力のもと、上田市立浦里小学校、において、「リフレッシュ理科教室」を開催する運びとなりました。学会連携による開催は、リフレッシュ理科教室が開始されて13年を迎える応用物理学会でも初めての試みです。

この手作りの理科工作教室を毎年、継続して開催することによって、少しでも子供たちの理科離れをくい止めたいと願っています。また、このような事業を通して、小中学校の先生、保護者の皆様のご支援を得て、一人でも多くの子供たちが理科に興味を持ち、理科を好きになるよう活動を続けたいと思っています。

最後に、「リフレッシュ理科教室」の開催にご賛同、ご協力いただきました皆様方に、心から厚くお礼申し上げます。

目 次

理科実験工作教室 「ドリームスペース ミッション 2009」

ようこそ理科実験工作教室へ	1
浦里小学校 校長 田村 裕子	
行ったりきたり 一輪車	3
静岡大学 工学部 立岡 浩一	
周回軌道を取れ! 電磁カスペースシャトル	13
名古屋大学大学院 工学研究科 山口 雅史	
理科実験工作教室の先生の自己紹介	23
実行委員会委員およびご協力いただいた方々	27
主催・後援・協賛・連絡先	29
修了証	30